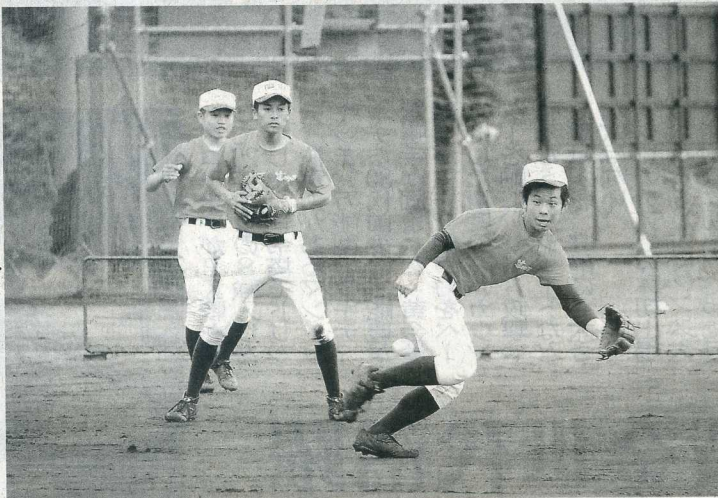


投打でパワーアップを果たし、シード校に引けを取らない戦力が整った。自信を深める選手たちは「秋と春の県大会で敗れた悔しさを晴らす」と、夏の大会では初となる決勝進出と甲子園出場へ意気込む。

破壊力のある佐藤、小田、浮橋の中軸3人に確実性が加わった。6月の県総体では3試合で3人の柵越えが計6本。ボール球を見極め、甘い球を捉える打撃で相手投手にプレッシャーをかける。さらに片山、村上ら下位打線がチャンスメイクすれば大量得点も可能だ。投手陣は右腕4人で乗り切る。先発は打たせて取る佐野と140球超の直球で押す浮橋に託す。共にスタミナ豊富で完投能力も十分。佐藤と末広

村上大祐主将 試合ではどんな展開でも勝ちを意識する。クリーンアップの活躍で県総体を制し自信を深めた。甲子園に出るため、まずは初戦をしっかりと勝ち切る。

破壊力ある中軸3人



は控えに回り、継投策に備える。

守りでは強肩の小田を中堅にコンバートし、セッターラインに安定感が出てきた。小川監督は「打線がつながれば(優勝の)可能性は高まる」と期待を込める。

【県大会の成績】

▽秋季大会
1回戦 9-4阿波西
2回戦 8-0阿波

守備練習に取り組み富岡西の選手

準々決勝 6-5池田
準決勝 0-7鳴門

▽春季大会

1回戦 12-5徳島北
2回戦 2-0城南
準々決勝 0-2城東

【過去5年の夏の戦績】

13年 2回戦、14年 2回戦、15年 1回戦、16年 1回戦、17年 1回戦、18年 1回戦